

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)スペースシア大阪南金田 新築	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市南金田二丁目	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年7月17日
敷地面積	739 m <sup>2</sup>	作成者	和寂舎 中山 正裕
建築面積	310 m <sup>2</sup>	確認日	2018年7月18日
延床面積	2,791 m <sup>2</sup>	確認者	和寂舎 中山 正裕



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 89% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 89% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 89% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	建物利用者の快適な生活環境を維持するため遮音性を高め、安全性の面からはF☆☆☆☆の内装材の使用し、耐用年数の高い建材の利用、節水型機器やユニット部材の使用は資源の有効利用につながる	その他 特になし
Q1 室内環境	開口部にはT2のサッシやF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	LED照明採用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=89%
Q2 サービス性能	情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう大容量ブロードバンド設置 耐用年数の高い建材の利用	
LR2 資源・マテリアル	ユニット部材や節水型便器を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)スぺーシア大阪南金田 新築工事
	建設地	大阪府吹田市南金田二丁目3番2、3番3
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		<b>B+</b>
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		<b>3</b>
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		<b>3</b>
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		<b>4</b>
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		<b>4</b>
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		<b>—</b>
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		